

## 健康づくりに積極的に取り組んでいる事業所



1. 事業所名 JA しまね 雲南地区本部
2. 従業員数 700名（季節雇用者を含む年間平均職員数）
3. 業種 農業協同組合（営農指導・信用・共済・福祉等）
4. 健康づくりの内容



### ★定期健康診断 受診率100%

日時（延べ6日間・午前午後）、場所（1市2町で各1会場・計3会場）等受診予定を細分化すること、また職員が希望する医療機関でも受診が可能となるよう医療機関と連絡調整を行うこと等の対策により、平成26年度以降3年連続で受診率100%を達成。健保加入者を中心に、一定の基準を満たした季節雇用者（法令上、定期健診の実施義務のない職員）に対しても実施している。

### ★ストレスチェックの実施及び実施後の対応

平成27年度より、定期健康診断に併せ実施。（職員50人未満の事業所も含め実施）また、実施後に高ストレス判定者でかつ希望する職員への医師（産業医）による面談を行い、精神疾患への“気づき”や専門医への受診に繋がっており、ストレスチェックがきっかけとなり専門医を受診したことで、苦しみながら仕事をしていた職員が病気を認識することで気持ちが楽になり、服薬や睡眠習慣の改善により疾患と上手につき合いながら仕事を続けることが出来た、という例もある。その他、毎月開催している安全衛生委員会において、産業医を含めた委員のメンバーで職場分析を行っている。

### ★球技大会や運動会の開催

毎年、他の地区本部を含め野球、バレーボール、ソフトボールを種目として球技大会を行っている。

今年は、JA しまね統合後初となる運動会を開催！役職員間の組織の一体感の醸成はもちろん、職員の運動不足解消にも繋がる。



☆運動会での一場面（8/5 大東体育館）

### ★インフルエンザ予防接種費用の助成

毎年、10月～翌年の1月末にかけ、1職員につき2,000円の助成を行っている。業務時間での接種も可（勤務時間としての扱い）とし、積極的な利用がなされている。

## 5. 衛生管理者等事業所の健康づくり推進担当者の役割

★職員の健康増進を進めることで生産性や生活の質の向上を図る

★労働災害の予防、発生後の再発防止策の策定・運用に努める

★産業医や職員の主治医等との連携により職員の就業をサポートする



☆ヘルスマネジメント認定